

工業 新晃 リニユーアル需要手堅く 豊富な市中ストック背景に

業務用空調システムの
中で大規模オフィスビ
ル、大型複合商業施設、
工場といった大型構造物
に適用されるセントラル
空調方式は、中央熱源方
式と称されるように熱源
機を集中設置し、建物内
に冷温水を循環させ、二
次側空調機で室内の空調
を行う。施工側の要望に
見合った最適なシステム
を構築でき、節電・省エ
ネニーズの継続を前提に
すれば、個別空調方式の
適用領域拡大という事情
があるとはいえ、新築物
件においては省エネ制御
が容易に図れるセントラ
ル空調方式の採用事例も
高まる、との指摘も見ら
れる。また、リニユーア
ル時の工事負担が避けら
れるなど全体としてコス
ト面での優位性があり、
熱源や二次側・補器類な
どユニット単位でのパー
ジョンアップも図りやす
いといった点もセントラ
ル空調方式の特徴。

空調機器総合メーカ
1、新晃工業（社長＝武
田昇三氏）の前3月期決
算（平成28年4月1日～
平成29年3月31日）連結
業績）では一時的な需要
の端境局面が見られた、
としたが、セントラル空
調の需要の軸となるリニ
ユーアル案件は多く、こ
れまで数多くの納入実績
を持つ新晃工業の市中ス

ストックは豊富。取り分
け、バブル景気時代に建
設されたビルが更新時期
に入っていることから、
リブレース／リニユー
アル事業の顕在化に伴
い、底堅い受注推移が見
込めそうだ。

大阪市内に建設が予
定されている大型ホテル
や大規模ビル、百貨店な
どは、さすがに新晃工業
の出番となっているが、
「底堅い需要はリニユー
アル」（営業開発部長・稲
川健氏）と指摘。関西で
新築大型案件は多くない
が、中規模リニユーアル
案件を手堅く取り込むこ
とができた（同）とし、
今第1四半期は概ね計画
通りの推移だという。

新晃工業は、セントラ
ル空調方式向けにエアハ
ンドリンクユニット、フ
ァンコイルユニットをは
じめとする二次側最先端
を走る幅広い空調機器を
ラインアップする。6月
28日から3日間、東京ビ
ックサイトで開催された
第30回インターフェック
スジャパンでもその一端
を披露し、注目を集め
た。リブレース／リニユー
アル需要は着実に増え
るとの見方が支配的で、
同社としても対象案件の
開拓・提案営業に傾注す
る方針。